

マザーレイクフォーラム 「つながりに気づき、つながりを築く」

決定！マザーレイクフォーラム賞！！

～第9回淡海の川づくりフォーラム～



マザーレイクフォーラム運営委員会

今回は、2月13日に開催された第9回淡海の川づくりフォーラムで、“マザーレイクフォーラム賞”を受賞された「米原市ビワマス倶楽部」の活動をご紹介します。

合言葉は“天野川カムバック ビワサーモン”

「知る」「守る」「伝える」3つのプロジェクト



米原市ビワマス倶楽部は、市が進める「米原市天野川ビワマス遡上プロジェクト」と連携して、平成24年から天野川にビワマスが遡上する環境を取戻すための取組を行っています。

これまでに、多くの方との関わりの中で、ビワマスや天野川についての学習会や観察会、天野川への鉄製魚道の設置、ビワマス紙芝居の作成、イベント等でビワマス料理店の出店を行ってきました。鉄製魚道の設置では、ビワマスの遡上を妨げている天野川内の5か所の堰堤に鉄製の簡易魚道を設置し、下流から順次コンクリート製の本格魚道に切り替えを行っています。また、メンバー皆で考え意見交換を重ね平成25年11月に「米原市ビワマスまちづくりプラン」を完成させました。このプランは、次世代を担う子どもたちに向けての河川環境の再生と、ビワマスを地域ブランドとして現代の私たちが住む米原市の地域活性化を目指すものです。

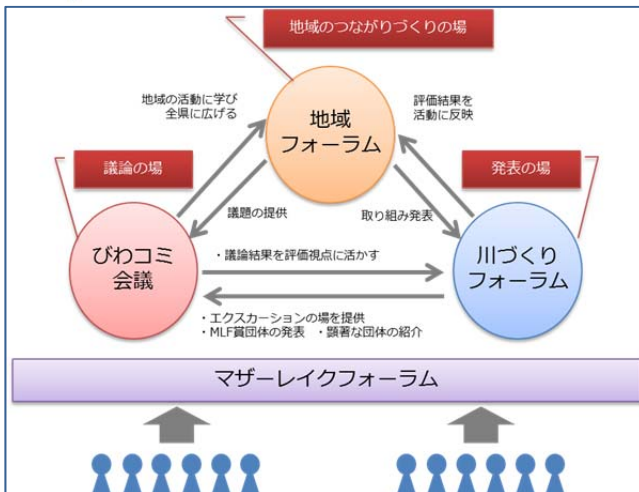


市民ビワマス見守りプロジェクト

倶楽部には、「ビワマス遡上！」と聞くとつい気になって天野川行ってしまう人や、「とにかくビワマスの美味しさを！」という人など、様々なメンバーが集まっていますが、いつも心がけているのは、「楽しいこと」と「正しいこと」を両立させようということです。現在天野川では、秋になると遡上するビワマスを多く見ることができます。そのような中で、「ビワマスが遡上し戻ってきた川は、本当に、産卵やふ化するのに適した川になっているのか」ということを考えつつ、これからも様々なことを行っていきたいと思います。



マザーレイクフォーラム賞とは？



マザーレイクフォーラムは、多様な主体が琵琶湖を愛する思いや課題によってゆるやかにつながることで、新たな活動への展開を創り出すことを目的としています。淡海の川づくりフォーラムで「マザーレイクフォーラム賞」を受賞された団体には、8月に開催する「びわコミ会議」で活動の発表やテーマ論議のコーディネートを通して人・組織・地域同士のつながりを更に深めて頂きたいと願っています。



マザーレイクフォーラム運営委員会からご案内

◆ 第6回マザーレイクフォーラムびわコミ会議

開催日：2016年 8月20日（10時～16時30分）

会場：コラボしが21

詳細は今後、マザーレイクフォーラムHP随時アップします。

(アドレス <http://mlf.shiga.jp/>)



昨年の様子



活動登録団体のご紹介 ～ 『びわ湖エコアイディア倶楽部』

市民として出来る環境活動を実践し、四季折々に美しい姿を見せる琵琶湖の景観とそこに育まれる自然生態系の保全を目的として草津市にあるパナソニック(株)アプライアンス社の社員有志が中心になり平成20年6月に発足。こどもエコクラブ“アイキッズ”の運営をはじめ、ヨシ刈活動や琵琶湖岸の清掃活動、水環境調査に取り組んでいます。

(倶楽部ブログ <http://blog.canpan.info/biwakoecoidea/> アイキッズブログ http://blog.canpan.info/i_kids/)

マザーレイクフォーラム運営委員会委員より一言

「見守りでつなぐ、湖・川・山、そして命のつながり」

びわ湖の南で育った私にとってビワマスは“あこがれ”の魚。50cm ちかい魚体をくねらせ、悠々と川を遡上し堰を越えていく姿はとても美しい。また同時に、ビワマスが遡上する川や水源の森も豊かで四季折々に様々な姿を見せてくれます。そして天野川にはもう一つ「ちょっと、気になるから・・・。」と、川に足を運び、川を見守る皆さんの優しいまなざしがある。どうかこれからも山・川・湖のつながり、命のつながりを見守っていきましょう。

(びわ湖エコアイディア倶楽部 中野 隆弘)

